

ピュア酸素

ピュア酸素の特徴

おすすめ
使用間隔

7～10 日間

土壌中の有機物、金属イオンと反応し酸素を発生

施用方法 ※ 水耕栽培では200～500倍でご使用ください。

	使用タイミング	使用方法	期待できる効果
キク 	定植時・直挿し発根時	100～200倍液を灌注 10kg/10a 7～10日おきに2回	活着・根張り促進
	消灯後20～25日 発蕾～摘蕾時 ★	100～200倍液を灌注 10kg/10a 7～10日おきに2回	上葉作り促進
	二度切り開始時 ★	100～200倍液を灌注 10kg/10a 7～10日おきに2回	栄養生長の促進
	根傷みをおこしたとき ★	100～200倍液を灌注 10kg/10a	根傷み軽減
トマト 	定植時	200倍液を灌注 10kg/10a	活着促進
	3 段開花～ 収穫終了まで ★	100～200倍液を灌注 10kg/10a 2週間おき	成り疲れ防止
	根傷みをおこしたとき ★	100～200倍液を灌注 10kg/10a	根傷み軽減
キュウリ 	定植時	200倍液を灌注 10kg/10a	活着促進
	作後半、根が弱り、 成り疲れになる時期 ★	200倍液を灌注 10kg/10a 10日に1回	成り疲れ防止
	根傷みをおこしたとき ★	100～200倍液を灌注 10kg/10a	根傷み軽減
ナス 	定植時	200倍液を灌注 10kg/10a	活着促進
	作後半、根が弱り、 成り疲れになる時期 ★	200倍液を灌注 10kg/10a 10日に1回	成り疲れ防止
	根傷みをおこしたとき ★	100～200倍液を灌注 10kg/10a	根傷み軽減
露地野菜 	長雨後	100倍液を散布	活着促進
	結球・肥大期 ★	100倍液を灌注 10kg/10a	根伸長促進 肥料吸収促進
	根傷みをおこしたとき 根の病害発生時 ★	100倍液を灌注 10kg/10a	根傷み軽減

★は透水プロリキッドとの混用処理おすすめ時期

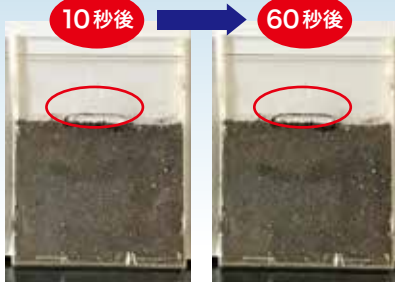
	使用タイミング	使用方法	期待できる効果
イチゴ 	定植時	100～300倍液を灌注 10kg/10a 1週間おきに2～3回	活着促進
	出蕾・開花・着果期 ★	100～300倍液を灌注 10kg/10a 1週間おきに2～3回	成り疲れ防止
	湛水処理をするとき	100～300倍液を灌注 10kg/10a	根傷み防止
	根傷みをおこしたとき ★	100～300倍液を灌注 10kg/10a	根傷み軽減
果樹 	苗木定植時	100倍液を灌注	活着促進
	新芽生長期 ★	100倍液を灌注 10kg/10a 10日に1回	根伸長促進 新芽生長促進
	根傷みをおこしたとき 根の病害発生時 ★	100倍液を灌注 10kg/10a	根傷み軽減

★は透水プロリキッドとの混用処理おすすめ時期

ピュア酸素+透水プロリキッド 同時処理効果

水はけが悪い圃場での浸透性試験(社内試験)

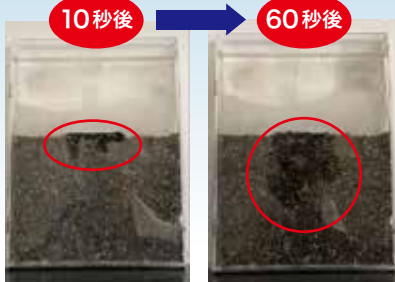
①水+ピュア酸素 100 倍



10秒後 → 60秒後

60秒後でも水が弾いてしまい
酸素剤が供給されていません

②透水プロリキッド 2000 倍 + ピュア酸素 100 倍



10秒後 → 60秒後

60秒後には酸素剤が土深くまで
まんべんなく浸透しています

概要 ■試験日: 2021年8月6日 ■試験地: イノチオ中央農業研究所

ピュア酸素+透水プロリキッド 併用方法

こんな場面での
併用がおすすめ

- ・水はけが悪く表面に藻やコケが生えている圃場
- ・有機培地栽培時の培地への処理時
- ・長期栽培型作物(トマト・ナス・キュウリ等)の後半(特に高温時)
- ・果樹類への施用時

おすすめ 濃度		ピュア酸素	透水プロリキッド
		土耕灌注処理の場合 10kg/10a	500ml(1本)/10a
	養液・隔離・バッグ栽培等、機械で処理する場合	100 倍	2000 倍

ピュア酸素と透水プロリキッドを
混用する場合の注意事項

- 直前混用・混用後は24時間以内に使用してください。
- 他社酸素剤との混用は効果・葉害の面で確認できていませんので避けてください。

